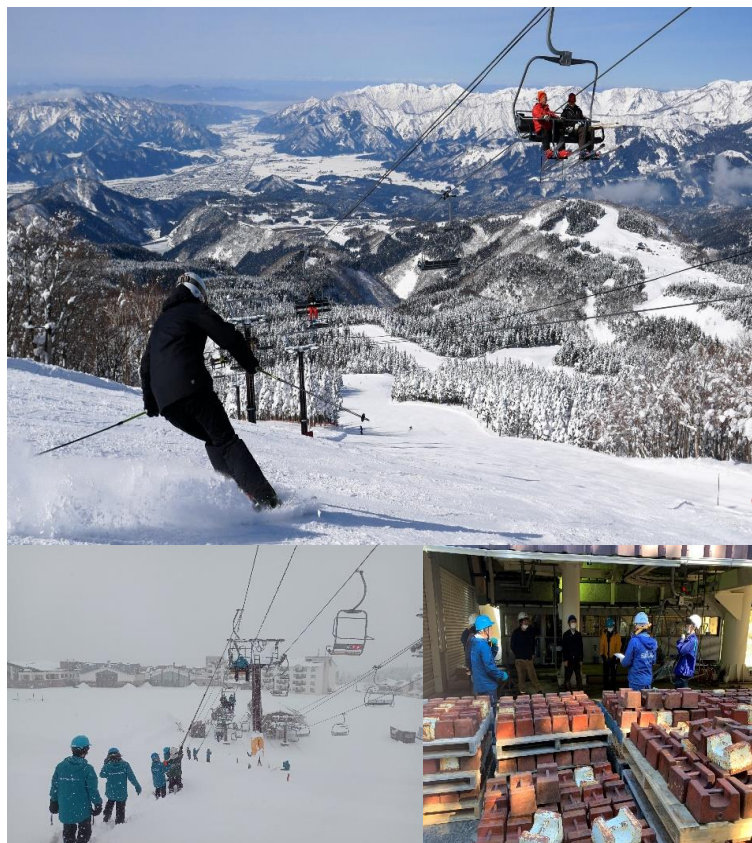




安全報告書

スキージャム勝山

バラエティークワッドリフト	(法恩寺第1クワッドリフト)
ファンタジークワッドリフト	(法恩寺第2クワッドリフト)
イリュージョントリプルリフト	(法恩寺第3トリプルリフト)
イリュージョンBクワッドリフト	(法恩寺第4クワッドリフト)
イリュージョンAクワッドリフト	(法恩寺第5クワッドリフト)
バラエティーペアリフト	(法恩寺第6ペアリフト)
ファンタジーペアリフト	(法恩寺第7ペアリフト)
ファミリーペアリフト	(法恩寺第8ペアリフト)



勝山高原開発株式会社

1. 利用者の皆様へ

日頃より、スキージャム勝山をご利用いただき、また、弊社索道事業に対しご理解をいただき、誠にありがとうございます。

弊社は、スキー事業理念において「お客様の安全確保」を第一に掲げ、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底など、安全輸送に最大限努めております。

2022年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に沈静化に向かい、お客様のリゾート施設をご利用いただく機会は以前の状況に戻りつつあります。

この間に対応した衛生管理についても成果が現れており、ご来場されたお客様のご理解とご協力には厚く御礼を申し上げます。

今後につきましても、お客様に安心してご利用いただける様に、安全かつ清潔な施設整備をはじめ、さらなる上質なサービスを提供して、存分に楽しんでいただけますよう、全社一丸となり努力いたしてまいります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解を頂くために公表するものです。皆様からの声を更なる輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

勝山高原開発株式会社

代表取締役

友井俊介

2. 安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知、徹底しております。

- 1) 全社一丸となり輸送の安全の確保に努め、「安全を最優先」に行動します。
- 2) 輸送の安全に関する法令及び規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 3) 憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義がある時は最も安全な取扱いをします。
- 4) 事故・災害等が発生したときは、その状況を冷静に判断し、人命救助を最優先に行動し安全適切な処置をとります。
- 5) 輸送の安全に関する知識・技能向上に努め、常に問題意識を持ち継続的な改善を図ります。

3. 索道運転事故発生状況

1) 索道運転事故

2022年度は、国土交通省への人身傷害事故2件の報告をいたしました。

【概要1】 法恩寺第3トリブルリフト

山麓停留場において、旅客が搬器に乗車しようとしたところ、搬器右手すりの上に着座してしまい、不安定な状態だったためリフトを停止させた。リフトが停止するまでの間に、当該旅客は座りなおすことができず、バランスを崩し搬器から転落して負傷した。

【概要2】 法恩寺第2クワッドリフト

山頂停留場において、旅客より滑走して下山できないとの申し出があったため、索道技術管理員の許可を得てパトロール隊員同乗のうえ下り線に乗車させようとしたところ、乗車位置での床面と搬器座面の高さが基準値を超えていたため着座できず、旅客が前方に転倒して負傷した。

上記2件ともに事故発生後、安全管理体制及び運転取扱について見直しを図り再発防止のため、施設の改善と全従業員の再教育を実施いたしました。

2) 災害（地震・暴風・豪雪など）

2022年度は、災害による運行停止はありません。尚、強風による運行停止は安全確保のため、状況により実施いたしました。

3) インシデント（事故の前兆）

2022年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

4. 安全確保のための取組

1) 安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

2022年度の主要整備計画項目 OH⇔オーバーホール

第1クワッドリフト	副減速機・ギヤボックスOH ランプレール張替
第2クワッドリフト	副減速機・ギヤボックスOH 支柱受索装置ピン・ブッシュ交換（1A・1B・4・13・15・19号支柱）
第3トリプルリフト	通常整備
第4クワッドリフト	握索機解体整備（120台）
第5クワッドリフト	休止中
第6ペアリフト	通常整備
第7ペアリフト	通常整備
第8ペアリフト	休止中

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2023年度の主要整備計画項目 OH⇔オーバーホール

第1クワッドリフト	緊張油圧ユニット更新・非常制動機用油圧ユニット更新 非常用制動機整備・支柱受索装置交換（12・15号支柱実線側）
第2クワッドリフト	緊張油圧ユニット更新・非常制動機用油圧ユニット更新 非常用制動機整備
第3トリプルリフト	通常整備
第4クワッドリフト	通常整備
第5クワッドリフト	休止中
第6ペアリフト	通常整備
第7ペアリフト	通常整備
第8ペアリフト	休止中

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2) 人材教育

当社は、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前及び営業期間中について、社員または経験者の指導による施設の仕様、リフト運行取扱についての安全教育を実施しています。また、社内の勉強会、研修により技術力向上に取り組んでおります。

- * 冬期勤務前研修 (実施日12月14日～2月11日の計30回、参加者72名)
- * 東急グループ技術管理員研修会 Web開催
(実施日11月8日 索道係員従業員教育・訓練について 参加者2名)
- * 索道技術力向上勉強会 (実施日6月24日 固定循環式握索機整備講習 参加者5名)
(実施日7月5日 自動循環式握索機整備講習 参加者5名)
(実施日9月12日～16日 索受装置整備 参加者2名)

【社長訓示】



【勤務前研修】



【研修受講写真】



【研修受講写真】



3) 訓練

毎年スキーシーズン前及びシーズン中にリフトの救助訓練を実施しています。

救助訓練実施状況

- * 冬季救助訓練 (実施日12月15日～2月9日 計7回 参加者52名)
- * 予備原動機切替訓練 (実施日10月31日～11月11日 計3回 参加者7名)

【冬季シーズン前救助訓練】



【冬季シーズン前救助訓練】



【予備原動機切替訓練】



【予備原動機切替訓練】



4) 安全向上への積極的な取組

- * 監視カメラの設置
利用者の安全確保のため基幹リフトの乗り場または降り場に監視カメラを設置しています。
- * 気象情報の収集
外部気象会社より情報を取得し自然災害や異常気象時の索道運転事故防止に努めています。
- * 接客マナーの向上
索道業務マニュアルの細部を見直し業界No.1の接客を目指します。
- * 滑走時のヘルメット着用の啓発
お客様へのヘルメット着用の推奨とスタッフの着用を徹底しています。

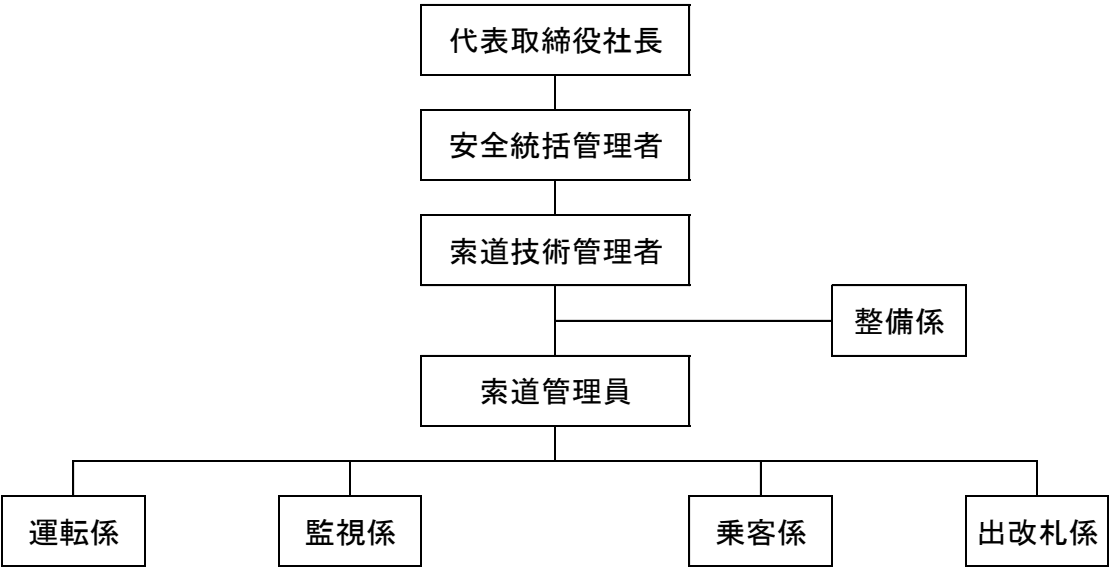
- 5) 新型コロナウイルス感染症への対策
- 当社は、政府ガイドラインや自治体の方針に沿って施設の備品やお客様に触れる箇所等への消毒を定期的の実施し、従業員における衛生管理の徹底を行いキャッシュレス等の非接触化を計画的に推進しています。
- 6) 現地事業所の監査の実施
- 社内及びグループ事業所の協力により各事業所相互において安全管理の実施状況確認と見直し・改善を毎シーズン行っています。

5. 安全管理体制図

2021年2月1日の鉄道事業法施行規則の一部改正に伴い、2021年2月に「安全管理規程」を改正し、社長をトップとする安全管理体制を構築しております。この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

【体制図】



6. 終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ努力してまいりました。これを踏まえ来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用いただけます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、さらなる安全管理の向上を図って参ります。この報告書を2022年度の安全報告書とさせていただきます。